



# 本日のテーマ「寝る前に読みたい本」



実施日：2017年9月24日



## 1 「間取りの手帖」 「間取り相談室」

佐藤和歌子／作 2003年、2005年  
リトル・モア 【527.8】

よく見ると、「ん？何か変じゃない？」という間取りばかりを集めた本です。どこから読みはじめ、どこをやのでもよし、小型で軽い本なので寝ころがって読むにもちょうどよいです。自分なら、このハンテコトは半条件にどう住むか？妄想にひたってみてはいかがでしょう？



## 2 「なくなりそうな世界のことば」

吉岡乾／著 西淑／イラスト 2017年 創元社 【802】

世界で話されていることばはおよそ7000。その中でも世界50の少数言葉の中から、そのことばらしい単語を紹介されています。例えば「...今年はトウモロコシがルルンだ！ルルンとは農作物が大量になっている様だ」とか。後半になるほど話者数は減っていきます。最後は0人。マラミク(死後の世界、等)。文も絵も美しく



## 3 「ナイアガラの女王」

寝る前にはこの本です。  
C.V.オールズバーグ／絵と文 江國香織／訳  
2015年 河出書房新社 【726.6】

寝る前に長い小説はちょっと...という人は絵本はいいか？ですか？大人向けの絵本で訳は江國さんです。62歳の未七人アニーが、橋に入って、ナイアガラの滝を下るといふ話なのですが、何と実話なんです。知らずに読めばえ！と読み返してしまいます。現在滝下りは法律で禁止されているそうなんです。アニーは滝を



## 4 「泡のざわめき」

とびりてくぐり抜けた唯一の女性性ということ。田中幸・結城千代子／著 西岡千晶／絵  
2015年 太郎次郎社エディタス 【423】 シリーズあります！

見も目はとてものがいいです。科学の本です。難しい話か？昔々...という人には軽めの睡眠薬にもなるかもしれません。ですが児童書なのでイラスト入りでわかりやすいです。泡の正体って説明できますか？ビールやコーヒーの泡から、洗剤、ペン、コルク、細胞、宇宙まで話幅広くあります。ページの下は、この豆知識だけでも勉強になります！



## 5 「今日の人生」

益田ミリ／著 2017年 ミシマ社 【914マ】



日々の生活のなかで、今日のハイライトを小さくてもみあげて。寝る前に「ああ、今日の人生」って思えちゃう。どこからいいところまで読んでおちつく本です。  
「夜空の下で」 益田ミリ／著 2016年 集英社 (未所蔵)

宇宙の小ネタが、まじりまじりして、旅で読むにもステキな本。



## 6 「名探偵傑作短篇集 法月綸太郎篇」

法月綸太郎／著 2017年 講談社 【SNノ】

名探偵 法月綸太郎(作者と同姓同名のミステリ作家)とその父、法月警視の名コンビが、見のあたるところをみせてくれる。とどろき図書館司書の栗田穂波嬢も登場して活躍する。



## 7 「大人に質問！「大人ってどのくらい大変なんですか？」

みうらじゆん／答える人 2015年  
飛鳥新社 【049】

子どもたちのありとあらゆる(中には答えにくい)質問に、著者がズバッと答えます。「この答えない！」と感じられるから、どうでもよいものまで、サクッと読んで、あっと眼のふとと間違いないです。



## 8 「家守奇譚」

梨木香歩／著 2004年 新潮社 【Nナ】

行方不明の親友の奥家の家守をする征四郎に不思議なことが起ります。七つ下つたものと思われていた親友が掛軸のなかからボートをいじり、また庭のサルスベリに恋をとり、夢が現か...あはれな世界にひたれり物静かです。



## 9 「あしながおじさん」

続編の「冬虫夏草」もどうぞ。  
J. ウェブスター／作・画 坪井郁美／訳 2004年  
福音館書店 【S93ウエ】

絶対、楽しいとわかっていゝお手紙形式の名作なので、気分を盛り上げてねむりにつぐのにあつた本。記者によって、雰囲気がちがってくるので、色々読みくらべてみるのも面白い。原文もどうぞ！

